

○「阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン」の調印式が行われました。

近畿大学を主幹校とする、大阪公立大学、関西医科大学、兵庫医科大学、本学における5大学9学部による「阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン」が、文部科学省の研究拠点形成費等補助金「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に採択され、令和5年（2023年）10月3日（火）に、各大学学部代表者による協定書への調印式が行われました。本学からは、秋末敏宏 保健学研究科長 村上卓道 医学研究科長が調印式に出席いたしました。

保健学研究科は、今期からの新規参画となります。



（前列左から1番目が秋末敏宏 保健学研究科長、前列左から4番目村上卓道 医学研究科長）

本プランは、近畿圏の国公立大学の医学・看護学・理工学・情報学系の大学院が相互連携し、大学院生などを対象に、地域で顕在化した課題の解決、予防医療の実践、高度ながん医療の実現を実践できるがんプロ人材を養成することを目的としています。

本プランでは、3つのタスクフォース、「タスクフォース1：医療現場」「タスクフォース2：予防医療」「タスクフォース3：研究開発」を立ち上げ、様々な課題に取り組みます。保健学研究科は「タスクフォース2」において 副島堯史准教授、福田敦子講師、宮脇郁子教授を中心に参画いたします。

（保健学研究科）